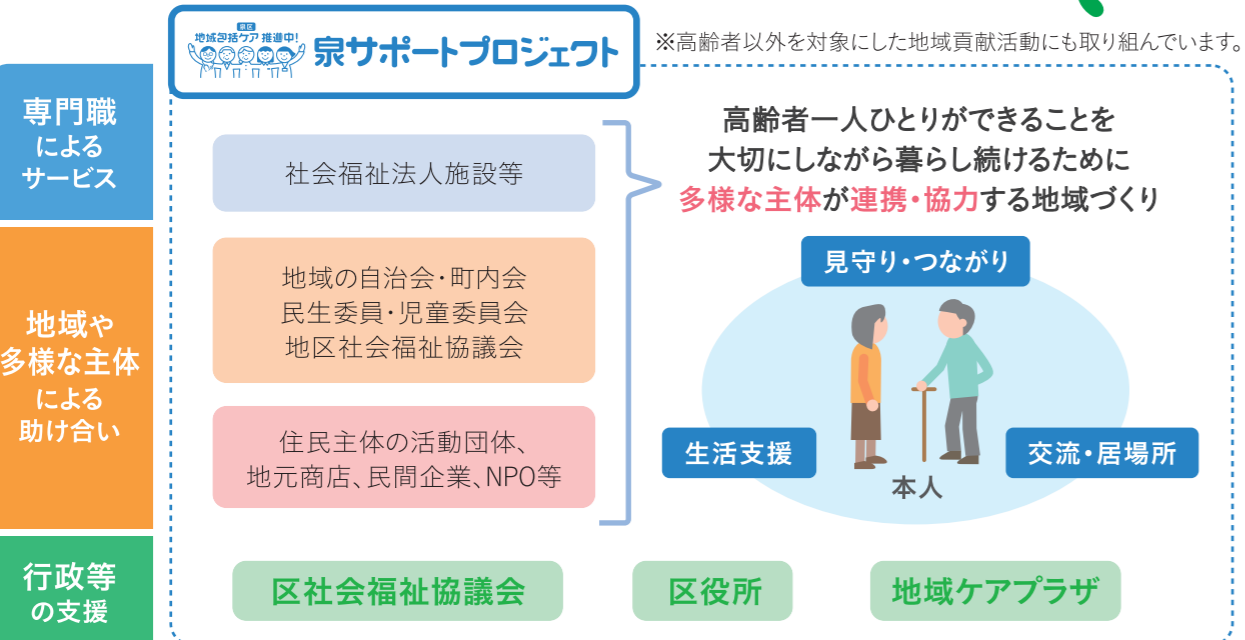


泉サポートプロジェクトと行政施策との連携

横浜市では平成28年度から新たに生活支援体制整備事業の取組が始まりました。団塊の世代が75歳以上となる2025年を目途に、要介護状態となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができるよう、多様な主体が連携、協力して地域づくりを進める事業です。泉区では、この事業によって泉区社会福祉協議会と各地域ケアプラザに配属された生活支援コーディネーターが、地域と施設等をつなぐことで、サポプロが発展してきました。その他、第4期泉区地域福祉保健計画や泉区アクションプランにも位置付けられています。泉区アクションプランでは、サポプロが以下のように紹介されています。今後もこうした行政施策とも連動し推進していきます。



泉区マスコットキャラクター
いっずん



泉区の福祉施設や企業の
地域貢献が地域住民の笑顔をつくる!

サポプロに
参加しませんか?

泉サポートプロジェクト

SDGsの推進

福祉施設と企業の
地域貢献を通じた街づくり

地域ニーズへの
アプローチ



我々と共に地域貢献にご協力ください

多様な主体がサポプロの理念を共有し、様々な地域ニーズにアプローチしていくことで、高齢者や障がい者、子育て世代等あらゆる地域住民にとって住みやすい地域づくりを進めることができます。現在、地域住民との話し合いや連携の中から多くの取組が生まれ、多くの区民から感謝の声が届いています。こうしたサポプロの取組に是非ご協力ください。



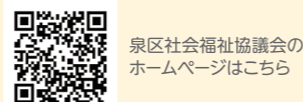
泉サポートプロジェクト 鈴木啓正 会長
(社会福祉法人たちばな会 理事長)

ご協力のほど
よろしく
お願いします!

泉サポートプロジェクトとは?

泉サポートプロジェクト(以下「サポプロ」)は、泉区内の福祉施設や企業等が連携し、地域貢献の一環として高齢者を中心とした地域ニーズを支援する取組として始まりました。現在34の団体が参加しています(令和4年11月1日現在)。サポプロは、「あらゆる機関が住民と共に地域貢献活動を検討・実施していくことで、『誰もが安心して暮らし、助け合えるまちづくり』を目指す」ことを理念としています。これは、SDGsの目標とも共通しています。サポプロでは、こうした理念を軸に、地域ニーズに対し多様な主体が連携し、それぞれができる範囲のことに無理なく取組み、地域貢献を果たしていくことを目指しています。

問合せ 横浜市泉区社会福祉協議会 横浜市泉区和泉中央南5-4-13 ☎045-802-2150
泉区役所高齢・障害支援課 横浜市泉区和泉中央北5-1-1 ☎045-800-2434



泉サポートプロジェクトは
持続可能な開発目標(SDGs)を
支援しています

施設と企業の連携による地域貢献

協力施設 特別養護老人ホーム・養護老人ホーム白寿荘、
湘南ヤクルト販売株式会社、
泉消防署いずみ野消防出張所、いずみ野地域ケアプラザ

取組内容 地域住民の健康づくりを目的にスタンプラリー形式の「健康フェスタ」を開催しています。地域ケアプラザ会場では、ヤクルトの試飲と腸内環境の健康講座を行っています。いずみ野消防出張所では消防機器体験を、白寿荘会場ではみかんの木が植えられている庭を地域住民に開放し、高齢者や親子連れの皆さんがみかん狩りを楽しんでいます。



地域の方より

各施設に伺う機会はあまりなかったですが、健康フェスタを通じて身近な存在に感じました。消防車に乗ったり、水消火器を体験したり、みかん狩りをしたり、孫と一緒に参加できて良い思い出となりました。

湘南ヤクルト販売株式会社 杉本さんより

地域の皆様に健康の大切さをお伝えすることは、日頃から進めている地域貢献活動の中で大切な取組のひとつです。今後も皆様に喜んでいただけることを楽しみにしています。

買物支援・交流の場づくり

協力施設 株式会社ローソン、一般社団法人スコップ、
上飯田地域ケアプラザ、下和泉地域ケアプラザ

取組内容 買物する場所が近くにない地域では、地域住民と地域ケアプラザ、区役所、泉区社会福祉協議会とが連携しローソンへ協力をお願いすることで、移動販売が開催されることになりました。また、障がい者の通所施設「スコップ」も日頃行っている野菜販売を一緒に開始しました。障がいのある通所者は、高齢者の重い買い物荷物を自宅まで運ぶお手伝いをしています。施設や企業と協力し住民が主体となり継続しています。



地域の方より

買い物が見近で来てとても助かっています。何より、昔のようにご近所の皆さんと井戸端会議が出来るのが嬉しいです。移動販売の日が楽しみです。

「スコップ上飯田」通所者 小出さんより

地域での販売や荷物を運んだりやっているととても楽しいし、お役に立てて嬉しいです。なんといっても嬉しかったのは住民の皆さんと仲良くなったことです。最近では街中でも声をかけてもらえるようになりました。

株式会社ローソン移動販売担当クルーより

住民の方が楽しそうに買い物をしている姿を見ると、やっていると喜びを感じます。また自身のモチベーションにつながります。やりがいもあり、毎回楽しみながら来させてもらっています。

泉サポートプロジェクト

泉で広がる サポートの輪

福祉施設や企業が行う地域貢献のメニュー

- 施設スペースの提供
- 移動販売
- 施設や企業の車両を活用した外出支援
- 専門知識を持った人材の派遣協力
- 地域の清掃や子どもの登下校の見守り
- 施設設備の提供 等

AEDやトイレの設備、飲料水の提供など上記メニュー以外の取組も地域貢献になります。

その他の取組の紹介

- 福祉施設の栄養士が地域の高齢者食事で配布するお弁当について、栄養面の監修を支援しています。
- 小学校の福祉教育の授業において、子どもたちから「高齢者の方が休めるベンチをつくりたい」という声が上がりました。そこで、建設業の組合の方にベンチの作り方を教わりながら子どもたちと一緒に製作しました。

施設車両を活用した外出支援

協力施設 特別養護老人ホーム天王森の郷、下和泉地域ケアプラザ

取組内容 高齢者サロン等では、会場まで一人で歩いて行くことが体力的に困難になる参加者がいます。そこで天王森の郷では、施設の送迎車を利用し、参加者を送迎する外出支援を行っています。参加者は、体力が低下しても、サロンに参加し仲間と楽しい時間を過ごされています。

地域の方より

体力が低下して、サロンへ歩いていくことが難しくなった時、送迎してくれるという話を聞き、嬉しいと同時にありがたい気持ちでいっぱいになりました。これからもみんなと顔を合わせてお話しできることに感謝して、サロンへ参加したいです。



天王森の郷職員 深山さんより

食事会への外出支援に関わることで、地域の方と接する機会が増えました。街の中でお会いすると挨拶をしてくれたり、我々も地域の方へ目を向けることが増え、繋がりを感じています。笑顔でサロンへ参加する姿を見られることが嬉しいです。

人材の派遣協力

協力施設 特別養護老人ホーム横浜敬寿園、いずみ中央地域ケアプラザ

取組内容 シニア男性のグループが主催する地域のイベントで健康講座を計画しました。地域の中に講師を務められる人材がおらず困っていた時に、地域ケアプラザのコーディネートにより横浜敬寿園の栄養士が派遣されました。これをきっかけに施設が地域住民の身近な存在となりました。

「男たちの活動グループducks」(講座主催者)より

施設の方に講座に来ていただくことで、施設が頼りになる存在なのだと感じました。非常に説明もわかりやすく、栄養を意識した食生活を心がけようと思いました。



横浜敬寿園 内田さんより

我々が地域の皆様のところへ出向いて行う講演に対し熱心に聞いてくださっている姿から、食事や健康にとっても関心が高いのだなと改めて感じました。今後も、色々な形で地域の皆さんに貢献していきます。